

9月10日から開会した「第6回定例会」に、町長から平成30年度各会計決算認定案が提出されました。これを審査するために、議員全員で構成する「決算特別委員会」(山野委員長、中島副委員長)を設置し、審査することとしました。

決算特別委員会では、2日間にわたり調査・質疑等を行い、慎重に審議した結果、全ての会計を全会一致で「認定すべきもの」と決定し、委員長報告書を作成して閉会しました。

特別委員会閉会後に再開した本会議では、委員長が報告を行い全て原案のとおり認定しました。(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

平成30年度決算 まちのお金の使い方をチェック

平成30年度の主要事業 (掲載事業のうち災害対策関連事業分9億4,293万円) 単位:万円
(表記単位未満は四捨五入)

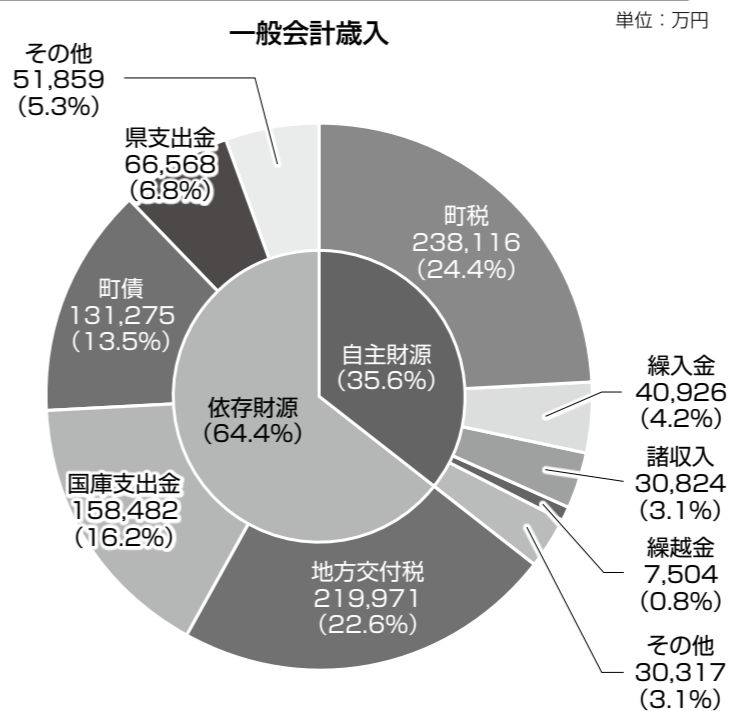
部	課	事業名	事業概要	事業費
総務部	総務課	町制施行100周年記念事業	町のPR及び活性化を目的とし、記念式典の実施、記念誌や絵本等の制作など	1,318
	地域振興課	筆の里工房事業	運営費及び空調設備、展示室改修	30,706
民生部	民生課	被災者支援事業	災害弔慰金、災害見舞金等	4,553
		災害救助事業	避難所設置、捜索業務、住宅応急修理等	6,464
	生活環境課	災害廃棄物処理事業	災害廃棄物の処理	8,519
建設部	建設課	大原ハイツ緊急道路新設事業	仮設道路の整備及び本設道路の測量設計業務	6,024
		農地及び農業用施設災害復旧事業	69箇所の設計書作成、復旧工事	8,303
		林道災害復旧事業	5箇所の設計書作成、復旧工事	3,914
		宅地内堆積土砂排除事業	24件の土砂撤去、町民グラウンド等の土砂一部搬出	8,818
		公共土木施設災害復旧事業	10箇所の河川、16箇所の道路の復旧工事(国費分)、ほか98件の工事(単費分)	47,698
		災害対策関連		
教育部	学校教育課	小学校大規模改造事業	小学校空調設備設置事業 第一小学校東校舎大規模改造事業	15,062
		中学校大規模改造事業	中学校空調設備設置事業 熊野東中学校普通教室棟大規模改造事業	25,214

◎歳入(町に入ったお金)

平成30年度の一般会計の歳入決算額は、97億5,842万円、前年度に比べ、14億5,171万円(17.5%)の増となっています。

歳入決算額を自主財源(町が自主的に収入できたお金)と依存財源(国や県から交付されたお金等)に分類すると、自主財源の構成比が35.6%、依存財源が64.4%となっており、依存財源の占める割合が高くなっています。

一般会計決算 歳入総額 97億5,842万円

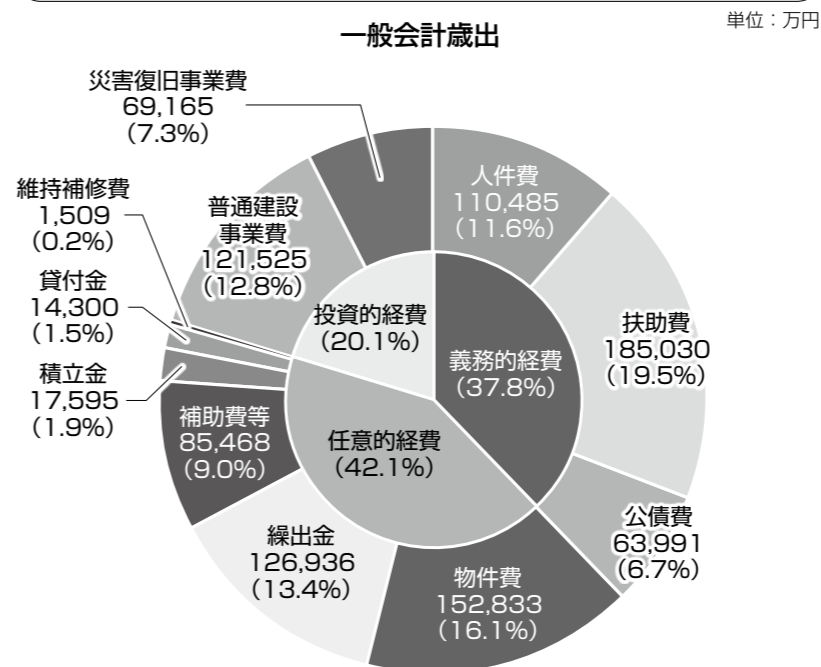


◎歳出(町が使ったお金)

平成30年度の一般会計の歳出決算額は、94億9,487万円、前年度に比べ、12億6,320万円(15.3%)の増となっています。

歳出決算額を性質別に分類すると、人件費や扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、全体の37.8%を、支出が社会資本形成(道路等の公共施設)や災害復旧に向けられる投資的経費の割合は20.1%を占めています。また、それ以外の任意的経費は42.1%を占めています。

一般会計決算 歳出総額 94億9,487万円



※グラフの数値は、決算統計上の数値を用いるため、歳出総額と一致しません。

決算特別委員会 質疑の一部を紹介

委員会では四つの部門を中心に協議しました。質疑の主な内容を紹介します。

総務部

Q.「おでかけ号」は、地域福祉基金を平成23年度から1千万円ずつ取り崩して事業を実施している。平成30年度決算での残額は1億7千万円だ。17年後にはなくなってしまう。住民のニーズは高い。何かの対策が必要ではないか。
A. 必要な交通対策だと考えている。財政的な面を含め、今後研究する。

民生部

Q. こども夢プラザの2階の利用状況について伺いたい。また、本来の目的である定住促進のための活用はどうか。
A. 民生委員、地域の方などにより、坊主山キッズスペースとして子どもたちの居場所づくりに利用している。定住交流を促進する事業を展開しているが、遠方からの利用に至っていない。今後、利用促進の具体策を検討したい。

建設部

Q. 昨年の豪雨災害による町民グラウンドの土砂の撤去は、予定どおり行われるのか。
A. 10月末までに土砂を撤去し、来年4月からは使用できる予定である。

教育部

Q. 学校へタブレット等が配置されているが、インターネット環境の整備が必要だ。LAN配線はどこまで進んでいるか。
A. LAN配線については、これまで職員室などに限定されていたが、普通教室でも使用可能となった。